

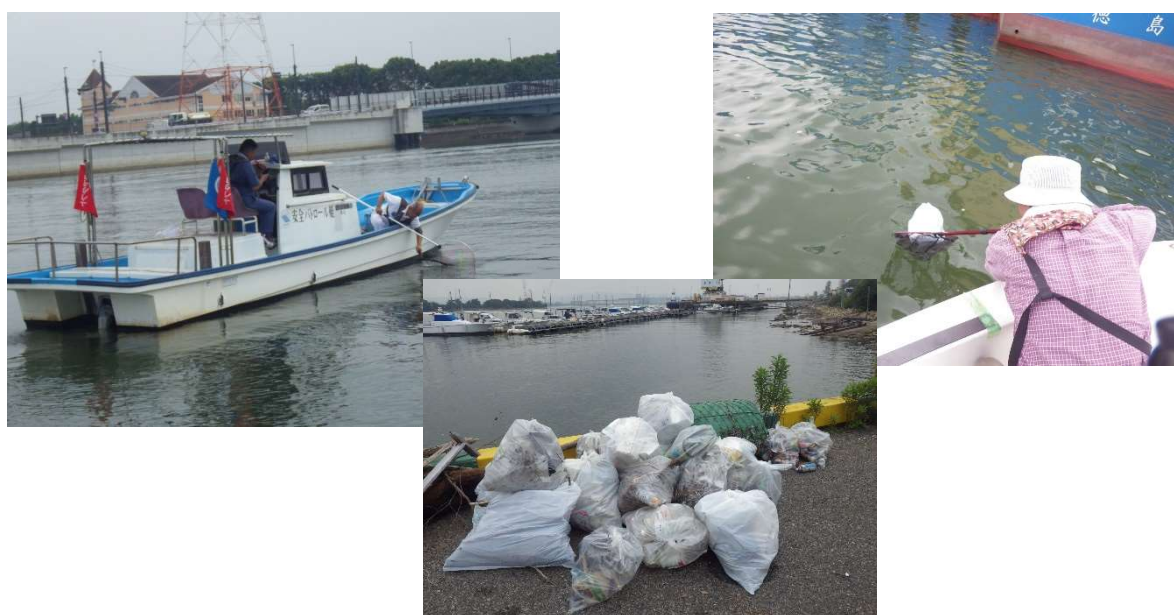
海面アダプト事業の実施

- 令和2年8月3日(月)に岡山県東部及び西部地区において海面アダプト事業を実施しました。
- 海面アダプト事業とは、瀬戸内海の環境保全を目的に、海面の利用機会が多い海洋レジャー団体がボランティアとして海面の清掃美化活動を実施するものです。
- 岡山県東部及び西部地区小型船安全協会のメンバーを中心に、地元の小学生を含む34名(小型船8隻)が参加し、東部地区では岡山港周辺海域、西部地区では水島港周辺海域の海面浮遊ゴミの回収作業を実施しました。

当日の様子



東部地区の活動には、小串小学校の児童も参加してくれました。



東部地区、西部地区あわせて約550kgのゴミを回収し、地元市(岡山市、倉敷市)の協力により処分しました。

アダプト事業とは？

「アダプト(Adopt)＝養子にする」という意味です。道路や河川など一定区画が、住民や企業によって、愛情と責任を持って清掃美化されることから、「アダプト・プログラム」と呼ばれています。

最近のボランティア意欲の高まりに応じ、ボランティア活動に意欲を持つ住民や企業にまちづくりに参加してもらい、美しい生活環境や快適な空間をつくる新しいシステムが、「アダプト・プログラム」です。

水産課では海面アダプト事業を平成15年から実施しています。